

水

福

連携

※ 農業と障がい福祉の連携である「農福連携」にならない、「水」産業と障がい「福」社の連携を「水福連携」と呼称しています。

マッチングマニュアル

はじめに

- ▶ 岩手県では、水産業の人材確保支援の取組の一つとして、主に水産加工事業者と就労継続支援B型（後述）の障がい福祉サービス事業所のマッチングを支援してきたほか、漁業・養殖業者等との連携に向けても取り組んでいます。
- ▶ 本書は、就労に至るまでの流れ、障がいの特性、実際にマッチングした事例等を紹介し、今後、障がい者の就労を受け入れる際のマニュアルとして活用いただくことを目的に作成したものです。
- ▶ 本書が水産業を営む方々をはじめ、様々な事業者のみなさまの人材確保の一助となれば幸いです。

<目次>

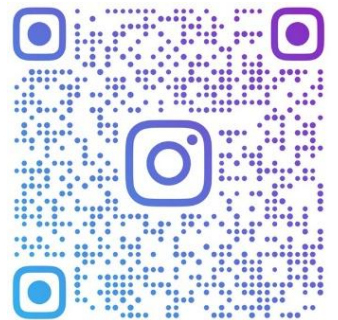
障がい者就労の主なパターン・・・ p.2
 就労に至るまでの流れ・・・ p.2
 障がいの特性・・・ p.3
 障がい福祉サービスの種類・・・ p.3
 マッチング事例の紹介・・・ p.4～9
 相談窓口のご案内・・・ p.9
 漁業者との連携に向けて・・・ p.10
 Q&A・・・ p.11



水福連携に関する
岩手県公式ホームページ
はこちらから

岩手県 水福連携

検索



IWATE_SUIFUKU

岩手県水福連携
Instagramフォロー
お願いします！

障がい者就労の主なパターン

障がい福祉サービス事業所（施設）では、障がいの程度や特性等により、雇用されることが難しい障がい者が、就労支援サービスを受けています。障がい者（利用者）は施設内外で作業を行い、賃金・工賃を得ています。

施設外就労

- ▶障がい福祉サービス事業所（施設）が企業等から作業を請け負い、当該企業内（事務所、工場等）で作業を行うことです。
- ▶障がい者（利用者）数名に施設の職員が必ず1名以上付き添い、1つのチームとして作業します。1チームは概ね4名（利用者3名、職員1名）程度です。
- ▶作業の説明や作業中の指示は施設の職員に行うようにしてください。職員が利用者に指示・指導します。
- ▶作業時間は、施設の作業時間に準じることが多いです。
（例）10：00から12：00⇒昼休憩⇒13：00から15：00
- ▶施設から就労場所への移動時間は片道30分以内が望ましいです。
- ▶休憩場所やトイレの確保もお願いします。



施設内就労

- ▶施設が企業等から作業を請け負い、当該施設内で作業を行うことです。
- ▶商品や物品の搬入・搬出については分担を決めて行います。
- ▶作業時間は、施設の作業時間に準じることが多いです。
- ▶梱包作業、組立作業、シール貼付などが多いです。

雇用

- ▶従業員として雇用契約を結びます。フルタイムで働いている方もいます。

詳しくは [検索](#)

いわて障がい者就労応援ハンドブック

就労に至るまでの流れ

就労継続支援B型及び就労継続支援A型（後述）の施設における一般的な就労までの流れをご紹介します。

1 相談

- ▶岩手県社会福祉協議会や各地域の相談窓口等で障がい者の就労に関する相談を受け付けています。（相談窓口は9ページ参照）
- ▶作業場所、移動時間、依頼したい作業内容、作業期間などを伺い、作業を請け負うことができそうな施設を検討します。予定作業場所から近い施設から検討することが多いです。

2 打合せ

- ▶企業と施設で顔合わせを行い、具体的な条件の打合せを行います。（例）作業開始日、作業日数、作業人数、賃金・工賃の設定金額、服装等
- ▶施設外就労の場合は作業場所の見学も行うとよいでしょう。
- ▶思いつくことはここで全部話して、確認しておくようにしましょう。作業開始後のトラブルを防ぎます。

3 トライアル

- ▶施設の体制上可能な作業なのか確認するとともに、施設の職員が作業を覚えるため、数日間から数週間程度の作業実習期間又は試用期間を設けます。
- ▶実施可能となった場合、利用者も作業実習を行います。（施設の職員と一緒に実習を行うことも多いです。）
- ▶シール貼付等の簡単な作業の場合、トライアルを省くこともあります。

4 契約

- ▶企業と施設間で請負契約を結びます。諸条件を記載した「作業委託契約書」や「作業依頼書」等を取り交わします。
- ▶長期間の作業の場合、作業開始後数か月から半年程度で作業の振り返りや条件の見直しを行うとよいでしょう。（例）作業内容の増減、賃金・工賃の再設定、人数の増減等

POINT

▶上記はあくまでも一般的な流れです。利用者によっては作業を覚えるのに時間が必要かもしれません。また、施設外就労の場合は、初めての場所や初めて会う人に緊張したり、戸惑ったりすることもあります。長い目で見守ってください。

▶まずはやってみること！できないと思っていたことができたり、うまくできなかったり、人それぞれです。最初から「できるはず」「できない」を決めないようにしましょう。

▶作業の振り返り等の際には、企業と施設双方が正直に意見を伝え合い、お互いに気持ちの良い関係の構築に努めましょう。

障がいの特性

各障がいによる特性は、それぞれ一般的なものを紹介しています。一人ひとりの障がいに合わせた対応を心がけましょう。下記の他に、自閉症スペクトラム障害（自閉症、高機能自閉症、アスペルガー症候群）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、LD（学習障害）といった「発達障がい」があります。

身体障がい

▶生まれつき又は病気、事故等により、目が見えない、耳が聴こえない、歩行が難しい等生活に制限がある状態のことです。

▶ 配慮のポイント（例）

- ・作業を行う際の導線を整理（余計なものを置かない等）し、移動が容易になるようにしましょう。
- ・ゆっくり大きな声で話す、筆談で情報を可視化する等、コミュニケーションにひと工夫しましょう。
- ・肢体不自由の場合、体をうまく使えないことがあるので、本人の意思を確認し補助しましょう。

知的障がい

▶知的な働きや発達が同年齢の人の平均と比べてゆっくりとしており、知的な行動に制限がある状態のことです。

▶ 配慮のポイント（例）

- ・簡単な言葉を使い丁寧に話すこと、場合によって繰り返し話すこと、見てわかるようにすること（絵や図）等、理解しやすい表現を心がけましょう。
- ・作業が難しいと感じられる場合でも、1つの作業の中にある工程を分担し、より単純な作業にすることでできるようになります（折って貼る作業→折るだけの人+貼るだけの人）。

精神障がい

▶統合失調症、うつ、薬物やアルコールによる急性中毒又はその依存症等により生活に制限がある状態のことです。

▶ 配慮のポイント（例）

- ・その時の心身の状態によって作業を行うことが難しくなることがあります。また、定期的な通院や服薬などが必要な場合がありますので、作業内容や作業時間（作業日）等を状況に応じて柔軟に変更できる体制づくりをしましょう。
- ・場合によっては支援機関等を活用し、本人がひとりで悩まないように補助しましょう。

障がいのある方の多くにみられる特徴

※全ての方に該当するものではありません。

- ▶急な変更（その日の作業が次々と変わる、急に新しい作業を頼まれる等）が苦手であることが多いです。
- ▶言葉だけの説明では理解が難しい場合があります。“あそこ”や“それ”などのあいまいな表現も苦手です。
- ▶言葉の裏にある相手の意図や、物事の背景（どうしてそうなったのか等）、物事のつながりを理解することが難しいです。（例）冗談が通じない等

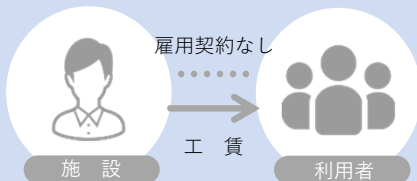
いづれの場合も、個人それぞれの「苦手」や「難しい」をフォローする工夫をしていくことが大切です

障がい福祉サービスの種類

本マニュアルでは主に「就労継続支援B型」と「就労継続支援A型」のサービスを提供している施設とのマッチングを想定しています。障がい者の継続的な就労に向けて、様々なサービスが行われています。

就労継続支援B型（非雇用型）

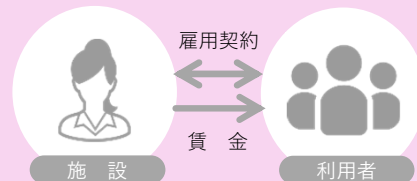
- ▶下記の方が対象で、利用者には就労に応じて工賃が支払われます。
- ・就労経験がある方で、年齢や体力の面で雇用されることが困難となった方
- ・50歳に達している方又は障害基礎年金1級の受給者
- ・上記以外の方で、就労移行支援施設による評価で、就労するにあたっての課題が把握されている方



B型・A型ともに、生産活動の機会の提供、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等、様々な支援を行います。

就労継続支援A型（雇用型）

- ▶下記の方が対象で、施設と利用者が雇用契約を結びます。利用者には就労に応じて賃金が支払われます。
- ・就労移行支援を利用したが、雇用につけなかった方
- ・特別支援学校を卒業し就職活動を行ったが、雇用につけなかった方
- ・企業等での就労経験のある方で、現に雇用関係がない方



就労移行支援

- ▶就労を希望する障がい者で、通常の事業所に雇用されることが可能と見込まれる方が対象です。
- ▶B型・A型と同様の支援や、求職活動に関する支援を行います。
- ▶就職のための“訓練”であり、工賃や賃金は原則支払われません。

就労定着支援

- ▶就労移行支援や就労継続支援を利用し企業等に新たに雇用された障がい者で、就労継続期間が6か月を経過した方が対象です。
- ▶雇用に伴い生じる日常生活又は社会生活を営む上での様々な問題に関する相談、指導及び助言等の支援を行います。

マッチング事例紹介

岩手県の支援によりマッチングが成立した事例や、事業者が独自に福祉サービス事業所と連携している事例を紹介します。

事例紹介の前に
ちょっと寄り道

なぜ、「水産業」と「障がい福祉」のマッチングなのかというところ…

水産業

- ▶慢性的に人手が不足している状況
- ▶単純な作業・地道な作業を行うことが多い

マッチングを図ることで…

お互いに
メリットがある！

すい 水 連携 ※ ふく 福

障がい福祉サービス事業所

- ▶工賃向上や訓練のために仕事を探している
- ▶障がい者は単純作業を得意とする人が多い

- ▶労働力を確保できる
- ▶従業員がより複雑な業務に注力できる
- ▶生産力の向上につながる



- ▶工賃・賃金の向上につながる
- ▶継続的に働いていくための訓練になる
- ▶利用者が社会とのつながりを持てる

※ 農業と障がい福祉の連携である「農福連携」にならない、「水」産業と障がい「福」社の連携を「水福連携」と呼称しています。

事例紹介

1

野村海産株式会社



就労継続支援
B型事業所

星雲工房

- ▶作業概要 【作業内容】わかめの芯抜き
- 【就労形態】施設外・施設内【期間】4月頃～11月頃
- 【作業日】月～金曜【作業時間】10：00～15：00
- 【1日の作業人数】10名前後【工賃】出来高



代表取締役 野村 誠一さんに伺いました

—作業を依頼してみてもいかがでしたか？

星雲工房さんの職員の対応が良く、作業の事前準備や利用者の作業のチェック等しっかりと行っているので安心してます。利用者みなさんも作業が上達してきていると思います。

実は以前、旧三陸町の社会福祉協議会に関わっていたことがあり、福祉との関わりをまだどこかで持てないかと考えていました。そのため、利用者によって作業にばらつきがあること、作業する利用者の入れ替わりがあることなどは織り込み済みで依頼しました。

—就労を受け入れる上での工夫等ありましたか？

わかめの芯抜き作業は従来より出来高で行われています。そのため、量をこなす必要がありますが、星雲工房さんにはノルマは設けていません。利用者個人の能力とは関係ない作業として依頼しました。

ただし、ある程度効率よく作業を行わなければ、利用者にとって十分な工賃収入にはならないということも理解しています。出荷量（工賃）を増やしていくことと、利用者の社会参画やリハビリ等に役立ててもらふことと、難しい部分だと感じています。

また、弊社の倉庫を作業場としてお貸しして施設外就労を受け入れているほか、星雲工房の施設内にわかめを搬入して、施設外就労が難しい利用者の方にも施設内就労として作業をしてもらっています。多い日には14～15

人で作業をしてもらふ日もあります。

塩蔵わかめなので、作業中にかなりの量の塩が出ますが、星雲工房さんでは室内にシートを敷く等、きちんと対応して取り組んでいるようです。

—今後の展望をお聞かせください。

星雲工房さんをはじめ、福祉との関わりを持ち続けていきたいですし、できる限りのことは協力したいです。

今年収穫するわかめについては、3～4月の高値の時期に出荷量を増やせるようにしたいので、星雲工房さんにも引き続きお願いしたいと考えています。

また、わかめの芯抜き以外にも利用者ができる作業を考えていきたいです。ノルマがある作業にはなりますが、主力商品の干しあわびに関する作業やこんぶの作業等にも可能性があると考えています。様々な角度から考えて作業を切り出すことができればと思います。

▶会社概要

- 【会社名】野村海産株式会社
- 【所在地】大船渡市三陸町綾里字清水136-1
- 【電話番号】0192-42-2233
- 【主な取扱】アワビ、ホヤ、ワカメ



—作業全般について
お聞かせください。

土地柄、利用者の中

にはわかめの芯抜きを経験している方もおりましたが、施設として直接水産加工に関わるのは初めての経験でした。芯抜きは利用者みなんでできる作業なので、依頼をいただけてありがたく思っています。

10か月ほど作業をしてきて、利用者はかなり上達したと感じています。作業のことを家に帰って家族に話す利用者もいるようで、本人たちにとっても上達していくことが嬉しいことなのだと思います。昨年のシーズン終了時には、利用者から「またいつ始まるの？」と聞かれるなど、楽しみにもなっているようです。

芯抜きはこの地域ならではのものであり、地域のためになっているという喜び・やりがいのある作業です。できる限り長く続けていきたいと考えています。

▶事業所概要

- 【事業所名】社会福祉法人大洋会 就労継続支援B型事業所星雲工房
- 【所在地】大船渡市立根町字下欠125-17【電話番号】0192-21-1818



(内容は令和3年2月現在のものです)



事例紹介 2

有限会社欠畑商店



就労継続支援 B型事業所 **かたつむり**

専務取締役 欠畑 直之さんに伺いました



—作業を依頼してみていかがでしたか？

食品表示の変更に対応するため急ぎで依頼した作業でした。作業スピードが速く、仕上がりに特に問題ありませんでした。また、かたつむりさんの利用者の方の送迎に合わせて、商品バックとシールの搬出・納品をしていただけたので助かりました。ありがとうございました。

—今後の展望をお聞かせください。

正直なところ、今後すぐに依頼できそうな作業はないのですが、仲間の事業者にもこの取組のことを紹介したいと考えています。



▷会社概要

【会社名】有限会社欠畑商店
【所在地】大船渡市三陸町
吉浜字向野90-1
【電話番号】0192-45-2242
【主な取扱】ウニ、ワカメ

▷作業概要 【作業内容】シール貼付

【就労形態】施設内【期間】約1か月

【作業時間】10:00~15:00

【1日の作業人数】5名前後【工賃】出来高



サービス管理責任者 藤井 純さんに伺いました

—今回の作業全般についてお聞かせください。

シール貼りの作業は利用者の人気が高く、また、症状が重い利用者でもできるので、施設として引き受けたい作業の一つです。これまでも他社から同様の作業依頼（梱包+シール貼り）を受けています。その経験から、作業の質が一定となるよう型枠を使って正確に貼り付けるなど工夫しました。

今回は急ぎで対応が必要な作業ということでしたが、また機会があればぜひお受けしたいと思います。



▷事業所概要 6ページ参照

(内容は令和3年2月現在のものです)

事例紹介 3

田老町漁業協同組合



就労継続支援 B型事業所 **ジョブ・パートナー山田**

JFたろう加工工場長 鳥居 高博さんに伺いました

—作業を依頼してみていかがでしたか？

当初は加工場内でのわかめの芯抜き作業を依頼する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染予防のため、従業員以外の入場を取りやめるとし、加工場の外で行う作業ということで、わかめの袋詰めをお願いしました。重労働だったと思いますが、しっかり対応いただき助かりました。

—今後の展望をお聞かせください。

引き続き福祉との関わりを持ち続けたいと思っています。人手不足の状況は続くので、時勢を鑑みながら、お願いできる作業を考えて行ければと思います。



▷団体概要

【団体名】田老町漁業協同組合
【所在地】宮古市田老字野原70
【電話番号】0193-87-2221
【主な取扱】ワカメ

▷作業概要 【作業内容】塩蔵わかめの袋詰め

【就労形態】施設外【期間】約1週間【作業時間】

10:00~15:00【1日の作業人数】3名

【工賃】1時間あたりの単価



施設長 佐々 かほるさんに伺いました

—今回の作業全般についてお聞かせください。

新型コロナウイルスの影響もあり、予定とは異なる作業となりましたが、周りの従業員の方から教えていただき、きちんと作業をこなすことができました。

今後も納得して頂けるような作業が出来る様に、取り組んでいきたいと思っています。

▷事業所概要

【事業所名】株式会社ジョブ・パートナー
就労継続支援B型事業所ジョブ・パートナー山田
【所在地】下閉伊郡山田町飯岡7-11
【電話番号】0193-77-3163

(内容は令和3年2月現在のものです)

事例紹介 4

株式会社ひろの屋



就労継続支援 B型事業所 **ワークス洋野**

営業企画部長 眞下 美紀子さんに伺いました

—作業を依頼してみていかがでしたか？

ウニの加工がメインになる7~8月の繁忙期に、商品の発送に関わる作業を依頼しました。とても丁寧に、かつ想像していたよりもスピーディに作業していただき助かりました。

—今後の展望をお聞かせください。

ワークス洋野さんと今後もお付き合いさせていただきたいです。福祉とのご縁ができたことをはじめ、多様な主体との共生、にぎわいの創出など、地域の価値を上げる取組を進めています。洋野町を中心に北三陸を盛り上げていきたいです。



▷会社概要

【会社名】株式会社ひろの屋
【所在地】九戸郡洋野町種市
22-131-18
【電話番号】0194-65-2408
【主な取扱】ウニ、ワカメ

▷作業概要 【作業内容】シール貼付、パンフレット

封入等【就労形態】施設外【期間】約2か月【作業日】

火・木曜【作業時間】10:00~15:00【1日の作業

人数】2名【工賃】1時間あたりの単価



施設長 澤里 勇人さんに伺いました

—今回の作業全般についてお聞かせください。

作業については問題なくできたものと思っています。

従業員の方と休憩室を共用させていただき、お話ししたり、利用者から折り紙

を渡して喜んでいただいたり積極的に交流できたことも良かったと思っています。

▷事業所概要

【事業所名】NPO法人なんぶ
就労継続支援B型事業所ワークス洋野
【所在地】九戸郡洋野町有家6-5-1
【電話番号】0194-75-4558

(内容は令和3年2月現在のものです)



北日本水産代表取締役社長
古川 季宏さんに伺いました

一作業を依頼してみてもいかがでしたか？

弊社ではこれまで、障がい者の就労受け入れや雇用をしたことが一切ありませんでしたが、かたつむりさんの体制がしっかりしており、安心して作業を任せることができています。若干コツのいる作業ではありますが、利用者のみなさんもだいぶ慣れてきたように感じています。

一就労を受け入れる上での工夫等はありませんか？

利用者の担当する作業については、決まった形（短め）の水槽に限定して変化が無いようにしています。また、大まかな担当エリアは指示しますが、作業ノルマは設けていません。利用者それぞれのペースで作業してもらえればと思っています。さらに慣れてくれば、担当エリアの拡大なども考えられると思います。

かたつむりさんとは随時連絡をとっており、今年は特にそうでしたが、降雪等で交通の便が悪い場合は無理せず休みにするなど、きちんと協議して調整できる体制を整えています。また、利用者が外に出て作業を行うだけでなく、外の人と接する機会を設けることが大切ではないかと考えています。

現在の利用者の作業ルーティーンでは、午前10時に作業場に到着して準備し、作業開始することとなっています。対して、従業員は午前10時から10時半が休憩時間となっているため、利用者と従業員が話す機会が少ない状態です。こちらについては今後従業員にも相談し、改善していきたいと思っています。↗



▶会社概要

【会社名】元正榮北日本水産株式会社
【所在地】大船渡市三陸町綾里字石浜71-1
【電話番号】0192-42-3056
【主な取扱】アワビ

▶作業概要 【作業内容】あわび養殖槽の清掃等 【就労形態】施設外 【期間】通年 【作業日】月・水・金曜 【作業時間】10：00～15：00 【1日の作業人数】3名程度 【工賃】1時間あたりの単価（作業量により上乘せあり）



一今後の展望をお聞かせください。

作業効率も徐々に上がり、今後の貴重な戦力になる可能性が見えてきたので、受け入れ態勢を整備していきたいと考えております。

実際に、これまで3名の方に来ていただいていたのですが、令和4年度から5名に増員する予定です。

また、昨年から来ていただいている3名のうち1名に正社員になっていただく方向で考えております。

また、今後は既存社員とのコミュニケーション不足という課題を解決していきたいです。お互いに気軽に雑談ができるような関係性を築いていけるように、体制を考えていきたいと思っています。

一作業全般についてお聞かせください。

サービス管理責任者 藤井 純さんに伺いました

トライアルの時から

作業している利用者3名に加え、現在1名が練習で参加しています。今後も長く作業を継続していくため、より余裕のあるローテーションを組んで取り組めるように体制を整えているところです。

利用者の反応は良好で作業を楽しみにしています。冬場はどうしても寒さがあるものの、「やりたくない」といったことはなく利用者のモチベーションは維持できていると感じています。

従業員の方から声をかけてもらうこともあります。気にかけていただいてこちらとしても助かっています。

北日本水産さんは障がい者就労の受け入れが初めてとのことですが、これが「当たり前」になるよう、互いにより理解が進むようにしていきたいと考えています。

▶事業所概要

【事業所名】非営利型一般社団法人かたつむり
就労継続支援B型事業所かたつむり
【所在地】大船渡市猪川町中井沢97-1【電話番号】0192-26-2134

（内容は令和3年2月現在のものです）



定置加工販売課長 齊藤 義治さんに伺いました

一作業を依頼してみてもいかがでしたか？

宮古アビリティィーセンターさんは、自営生産事業や受託事業を数多く経験されていることを知っていたので、問題なくお願いできると考えていました。

また、茎わかめの剣山引きが水福連携の取組事例として挙げられていたため、話を進めやすかったです。

一今後の展望をお聞かせください。

連携開始から1年が経過するので、他商品の加工委託など依頼できるように、今後もコミュニケーションを積極的に取っていききたいです。

高齢化や若者の人口流出等で労働力の減少が著しい中で、地域を支える力になるであろう福祉人材と今後とも積極的に連携していきたいです。

令和3年3月頃に、施設の花壇整備を行い、漁協職員と交流する機会を設けました。今後もそのような機会を継続してつくっていききたいです。



▶会社概要

【会社名】重茂漁業協同組合
【所在地】宮古市重茂第1地割37番地の1
【電話番号】0193-68-2301
【主な取扱】ワカメ、ウニ等



▶作業概要 【作業内容】わかめの剣山引き加工
【就労形態】施設内 【期間】通年
【作業時間】10：00～15：00
【1日の作業人数】8名前後 【工賃】出来高



施設長 沼崎 和歌子さんに伺いました

一今回の作業全般についてお聞かせください。

現在は8名で作業に取り組んでいます。一定のペースで作業ができることもあって、請け負っている作業の中で上位の人気を誇る作業になっています。

当初は1週間に4ケースほどの出来具合でしたが、今は8～9ケースほど加工ができるまでになりました。

一今後の展望についてお聞かせください。

年間を通して作業ができるので、非常にありがたく今後も継続して行っていききたいです。また、今後は増産できるようにできる限り作業効率を上げていききたいです。

▶事業所概要

【事業所名】社会福祉法人自立更生会就労継続支援B型事業所宮古アビリティィーセンター
【所在地】宮古市板屋3-11-1
【電話番号】0193-64-1981





参事 船砥 浩一さんに伺いました

—作業を依頼するに至った経緯、その後の状況は？
 以前は地域の若者や高齢者に期間工のような形で働いてもらっていましたが、人口流出など様々な事情で受け手がピーク時の半分以下まで減少してしまいました。
 このような状況の中、水福連携のお話を頂きました。障がい福祉サービス事業所との連携は初めてで不安がありました。星雲工場の担当者様とこまめにやりとりを行い、安心して作業を始めることができました。
 —今後の展望をお聞かせください。
 まずは今回の段ボール折り作業が無事に完了することを目指しています。今回、約1カ月半という短い期間の中で4,000箱を折ってもらったのをお願いをしたのですが、私たちが想定しているよりも早く作業が進んでいる上に、ミスもなく、安心して使うことが出来そうです。
 今後は、ワカメの加工作業の他、様々な作業を通じて、連携を深めていければと考えています。

- ▶会社概要
- 【会社名】越喜来漁業協同組合
- 【所在地】大船渡市三陸町越喜来 字杉下126番地1
- 【電話番号】0192-44-2135
- 【主な取扱】ワカメ、ホタテ



- ▶作業概要 【作業内容】段ボール折り（ワカメ発送用）
- 【就労形態】施設内【期間】通年【作業日】月～金曜
- 【作業時間】9：15～15：30【1日の作業人数】4名程度
- 【工賃】1箱あたりの単価

工房長 吉田 展泰さんに伺いました

—作業全般についてお聞かせください。
 過去にも段ボール折りの経験があることから、今回の依頼をお受けさせて頂きました。
 段ボールが頑丈な作りになっているため、2人1組で作業に取り組んでいます。
 利用者も作業に慣れ始めており、予定している箱数の4,000箱が想定よりも早く終了する見込みです。
 作業単価も高めに設定いただき、嬉しい反面、その期待に応えられるように取り組まなければならないと感じております。
 今後も段ボール折り作業の他に、様々な作業で越喜来漁協さんと連携して取り組んでいきたいです。

▶事業所概要4ページ参照

(内容は令和4年3月現在のものです)



取締役品質管理担当 遠藤 一男さんに伺いました

—作業を依頼してみえたか？
 非常に助かっています。これからさらに仕事に慣れて頑張ってもらいたいです。
 —障がい者の受け入れに当たって、工夫したところや課題があればお聞かせください。
 特別扱いをせずに周りの社員と同様に接している点かなと思います。また、萎縮せずに皆が働きやすい空間をつくるため、上司から1日1回は声をかけるようにしています。また休憩時間などには、社員が比較的高齢なこともあり、孫娘のように接しながら、コミュニケーションを図っている光景をよく見かけます。
 —今後の展望をお聞かせください。
 私たちは皆さんを一人前の戦力としてカウントしています。ですので、様々な作業を担当して多くの経験をしてもらいたいです。
 最初はここまでできるとは正直思っていませんでした。今後は、状況次第ですが正規雇用も視野に入れつつ、業務の負荷をかけすぎないようにバランスを見ながら、元気に取り組んでいただければと思います。

- ▶会社概要
- 【会社名】有限会社宮古食品
- 【所在地】宮古市田老字古田75-8
- 【電話番号】0193-87-2547
- 【主な取扱】魚加工、冷凍食品製造



- ▶作業概要 【作業内容】温度の計測、商品の運搬、シール貼り
- 【就労形態】施設外【期間】月曜～金曜
- 【作業時間】10：30～15：00
- 【1日の作業人数】3名【工賃】1時間あたりの単価

施設長 沼崎 和歌子さんに伺いました

—今回の作業全般についてお聞かせください。
 宮古食品さんには障がい者に対する理解がある方が多く、働きやすい環境を作っていただいています。軌道に乗り始めてきたので、今後は空いた時間に自分から仕事を見つけて動いてくれるようになってくれたら嬉しいです。
 —今後の展望をお聞かせください。
 今後も無理せずに従事してほしいと思います。利用者から、面白かったという話やその日の業務内容に関する話をよく耳にします。やりがいを持って働いているようです。
 作業に一定のスピードが求められることもあり、現在は3名が取り組んでいますが、今後は興味がありそうな利用者に声をかけながら人数を増やしていけたらと思います。
 相手方の意向にもよりますが、将来的に宮古食品さんで働きたいと考えている利用者もいるので、実現できるように、1つ1つ丁寧に仕事に取り組んでほしいです。

(内容は令和4年3月現在のものです)

▶事業所概要6ページ参照





専務取締役 佐々木 和也さんに伺いました 

—作業を依頼してみていかがでしたか？

1人1人の働く意欲が高く、挨拶や返事などの社会人としてのマナーも備わっています。

仕事中に起きたアクシデントに関しては応用が利かない部分は大いにあります。判断がつかないことがあった場合に、報告と相談をしてくれます。

分からないことをはっきり分からないと言うことが出来、嘘をつかずに正直に自分のミスなどを教えてくれるので、安心して作業を任せられています。

—障がい者の受け入れに当たって、工夫したところや課題があればお聞かせください。

「出来る事を増やしてあげること」を意識しています。一般的に作業としては1つの作業かもしれませんが、その中で、2つ、3つと作業を砕き、出来ているかどうかを判断しています。そして出来る事を増やせることにより、本人に自信が付き、仕事に対しての意欲向上にも繋がっているのかなと思います。

また、苦手な作業を細かく砕いてスモールステップをつくり、日々確認をしながらサポートをしています。どうしても時間がかかったり、できなかったりする場合がありますが、気仙障がい者就業・生活支援センターさんと連携して、本人の中の限界を見極めて、作業に取り組んでいます。

課題としては、様々な伝え方です。初めて会う時や、作業を教える時にどのような教え方が一番その人にとって最適なのか、コミュニケーションを取りながら考えて教えています。やり方を間違えると全く違う意味に捉えられてしまうことがあったので、慎重に判断をしています。

—複数の障がい福祉サービス事業所を受け入れる事に対してのお考えをお聞かせください。

障がいにも度合いがあり、まったく未知数な部分のため、深くは考えていませんでした。

異なる事業所が集まるのが今までに無かったという話を伺い、不安な部分も多少ありましたが、各事業所の職員さんと打ち合わせをし、揉め事が起こらないように準備をしました。

実際に稼働してみると、利用者同士の揉め事は起こったことも無く、問題なく作業できています。利用者同士の交流にもなっているので作業だけでない相乗効果もあり、活気が溢れる場となりました。

▷作業概要 【作業内容】むきホヤ加工【就労形態】施設外
【期間】通年【作業日】月曜日から金曜日
【作業時間】10:00~15:00【1日の作業人数】6~8名
【工賃】1時間あたりの単価

—今後の展望をお聞かせください。

障がい者を健常者が支えるのではなく、完全に自立して会社を成り立てています。そのために、1人1人が、「気づき・考え・行動する」ことができるように仕組みを築き上げていきたいと思っています。

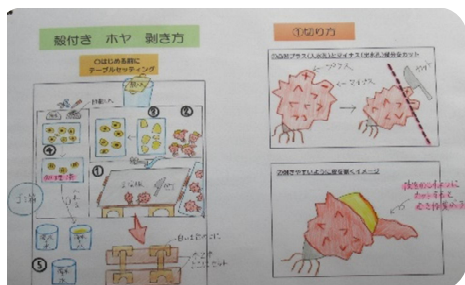
私たちの会社には働く場所があります。そして障がいがあるとなかろうと働く気持ちと最低限の働く能力があれば雇用という土俵に上がることができます。

しかしあくまでも土俵に上がっただけでありゴールではありません。障がいについての専門知識が少なく、どう対処していいかわからない事が多々あります。そんなときに相談できる状態や環境を企業の管理者にどう作ることが出来るかでその不安は消えると思います。

企業側と福祉側がしっかりと協力体制を整えることが大切だと考えます。 (内容は令和4年3月現在のものです)

▶会社概要

【会社名】三陸ラボラトリ株式会社
【所在地】大船渡市三陸町綾里港62番地1
【電話番号】0198-22-5149
【主な取扱】ホヤ、ウニ、カキ





常務 千葉 祐太郎さんに伺いました



—作業を依頼してみていかがでしたか？

納期も守ってもらい、作業も丁寧でよかったです。また、商品を大切に扱っていただき、生産者としてうれしかったです。

—福祉との連携に当たって、工夫したところや課題があればお聞かせください。

過去にトライアルを行いました。林野火災の影響もあり、一過性で終わってしまいました。今回は再始動ということで、岩手県社会福祉協議会さんにコーディネートしていただき、事前に関係者で作業の詳細や単価、その他条件等を確認することで正式な連携（請負）に繋がったと思います。また、連携が始まってからは、検品の都度、改善点を伝えることで、品質確保や、作業スピードが改善されるよう工夫しました。今後は出来るだけ多くの量を作業出来るよう配送方法なども工夫して行ければいいのかなと思います。

—今後の展望をお聞かせください。

わかめの下処理作業は、以前は家族や地域で行っていましたが、高齢化や人口減少が進み作業の担い手が不足していました。水産業の担い手不足の解決策の一つとして、これからも福祉との連携に取り組んで行きたいです。

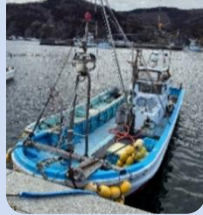
▷会社概要

【会社名】 有限会社三陸海洋土木

【所在地】 大船渡市三陸町綾里字宮野67-1

【電話番号】 0192-42-2857

【主な取扱】 塩蔵わかめ、塩蔵こんぶ



- ▷作業概要 【作業内容】 塩蔵わかめ下処理作業
- 【就労形態】 施設内 【期間】 月曜～金曜
- 【作業時間】 10：00～15：00
- 【1日の作業人数】 6名
- 【工賃】 1カゴ（又は箱）あたりの単価

サービス管理責任者 尾島 一恵さんに伺いました

—今回の作業全般についてお聞かせください。

最初は手探り状態の作業でしたが、三陸海洋土木さんのアドバイスがあったことや、利用者も作業に徐々に順応してきて作業スピードも上がりました。また、作業して楽しかったとの声もあり利用者からも好評でした。工賃も上がり連携して良かったです。

—今後の展望をお聞かせください。

来シーズンも作業を請け負いたいです。作業スピードが上がって来ましたが、一度の配送量の関係から、一日当たりの作業量が頭打ちの状態でした。改善策を検討するなどして、更にお役に立てるよう工夫して行きたいです。

(内容は令和8年5月現在のものです)

相談窓口のご案内



「雇用」の場合は、地域のハローワークに相談してみるのもよいでしょう。



支援地域（市町村）	名称	住所	電話番号
県内全域	社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会 福祉経営支援部	〒020-0831 盛岡市三本柳8-1-3 ふれあいランド岩手内	019-637-4407
洋野町 久慈市 野田村 普代村	社会福祉法人 修倫会 久慈地区チャレンジド就業・ 生活支援センター	〒028-0061 久慈市中央4-34	0194-66-8585
田野畑村 岩泉町 宮古市 山田町	社会福祉法人 若竹会 宮古地区チャレンジド就業・ 生活支援センター	〒027-0073 宮古市緑ヶ丘2-3 はあとふるセンター みやこ内	0193-71-1245
大槌町 釜石市	社会福祉法人 翔友 釜石大槌地域障がい者就業・ 生活支援センター キックオフ	〒026-0032 釜石市千鳥町1-12-2 第1コーポチスガ1F	0193-55-4181
大船渡市 住田町 陸前高田市	社会福祉法人 大洋会 気仙障がい者就業・生活支援センター	〒022-0003 大船渡市盛町字東町11-12	0192-27-0833

漁業者と障がい福祉サービス事業所の連携に向けて

県では、水産加工事業者と障がい福祉サービス事業所との連携に加えて、漁業・養殖業においても人手不足が顕著であることから、連携に向けて取り組んでいます。

以下の作業のほか、様々な作業での連携が想定されますので、まずは県復興防災部復興くらし再建課(019-629-6931) に御相談ください。

想定される作業

- ①牡蠣の不要物除去
 - ②養殖ロープの手入れ
 - ③帆立の耳釣り
 - ④わかめの芯抜き
 - ⑤漁具の清掃
 - ⑥箱折り、箱詰め
- など

作業開始までの流れ

①相談

▷各窓口にて作業内容、作業時期、場所などを確認

②顔合せ

▷福祉職員と対面
▷条件の調整
▷作業現場見学


④契約

▷福祉事業所と請負契約を結ぶ
▷数カ月に1度条件の見直しをする


③トライアル

▷利用者・職員が作業を覚えるため（1週間程度）

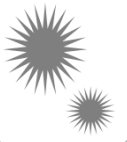


Q 作業を依頼してみたいですが、どうすれば良いでしょうか？ 

- ▶はじめから依頼したい作業が決まっている場合も、具体的な作業内容が決まっていない場合も、まずはどんな作業があるか頭出しをします。そこから施設の体制や利用者の障がい等に合わせて行うことができる作業を切り出して（見つけて）いきましょう。
- ▶作業の適性については施設の利用者の障がいの程度によって様々です。トライアルですぐに上手にできる場合もあれば、数回、数か月かかってできるようになることもあります。


Q 連携するためにどのようなサポートを受けられますか？ 

- ▶施設の体制や利用者の障がい等に合わせて行うことができる作業の切り出しや障がい福祉サービス事業所との調整等、マッチングをサポートいたしますので、9ページの相談窓口又は、県復興防災部復興くらし再建課（019-629-6931）まで御相談ください。
- ▶これまでにマッチングに至らなかった事例や様々な情報の提供をいたします。



Q 障がい者と上手にコミュニケーションが取れるか不安です

- ▶施設外就労の場合、数人の施設利用者に対して1名以上の施設職員が同行し、利用者への指示やサポートを行います。
- ▶作業外などでコミュニケーションを取る際には、複数かつ細かい指示が伝わりにくい場合がありますので、1つ1つ分けて伝えてあげましょう。
- ▶周囲とコミュニケーションを取ることが苦手な利用者は、分からない事をそのままにしてしまうケースがありますので、時々声をかけて様子を見てあげてください。

Q 従業員と同じ就業時間で働いてもらうことはできますか？ 


- ▶2ページのとおり、10：00～15：00での就労が基本のパターンです。これは、施設の利用者が自宅から施設に通い、施設から作業場所へ移動するためです。フルタイムは難しいですが、条件にもよるので施設職員に相談しましょう。
- ▶施設によっては就労時間に作業場所への移動時間を含む場合があります。
- ▶小休憩やトイレ休憩等をこまめにとることが必要な場合もあります。

Q 雇用したい場合はどうしたらよいでしょうか？ 

- ▶障がい者の雇用に関しては、「いわて障がい者就労応援ハンドブック」をご覧ください。障がい者雇用に係る各種助成金等支援制度のご案内のほか、障がい者雇用をする際のポイント等、詳しく紹介しています。
- ▶ダウンロードはこちら（岩手県ホームページ） <https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyoku/fukushi/shougai/shakaisanka/1004064.html>

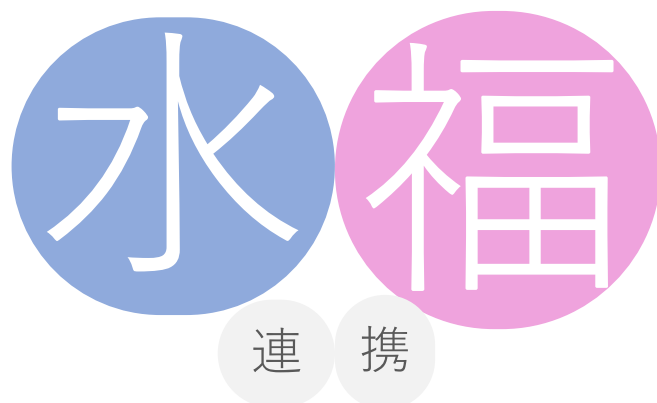
いわて障がい者就労応援ハンドブック

検索

Q どのように工賃を設定するとよいでしょうか？ 

- ▶1時間あたりの単価もしくは出来高で設定する場合があります。
- ▶1時間あたりの単価の場合はトライアルの際に、従業員の作業量と比較して何割の作業ができていたかを鑑みて設定することが多いです。
（例）従業員の時給1,000円の作業量に対し、その50%の作業量のため1時間あたりの単価500円
- ▶出来高で設定する場合は作業の単価を決めます。単価については企業側の相場感や施設側の請負実績等から協議して設定することが多いです。（例）1枚●円、10kg■円
- ▶また、作業が一定程度できるようになったタイミングなどで工賃の見直しを行っても良いかもしれません。工賃の見直しは3か月から半年に一度行っている場合があります。





マッチングマニュアル

発行

岩手県復興防災部復興くらし再建課

所在地：〒020-8570 盛岡市内丸10番1号

電話番号：019-629-6931

ファクシミリ：019-629-6944

ホームページ：<https://www.pref.iwate.jp/shinsaifukkou/nariwai/sonota/1028037.html>

令和5年8月31日
(令和8年6月22日改訂)